

## テーマ「郡山市の水害とハザードマップについて」

郡山市では、今年度から「水害ハザードマップ」の改訂(H30-31)を予定しています。  
郡山市のハザードマップ全般についての市民の皆さまが思うことや、改訂を予定している水害のハザードマップについて望むことなどのアンケート調査を実施しましたので、その結果についてお知らせします。

※「ハザードマップ」とは、一般的に「自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図」とされています。

現行のハザードマップ「郡山市 浸水ハザードマップ」(H25.5発行)

(河川課)

### 調査概要

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| ○調査期間  | 平成30年7月18日(水)～7月27日(金)(10日間) |
| ○回答方法  | 専用ウェブサイトから回答を送信する。           |
| ○モニター数 | 340名 (男性 148名 女性 192名)       |
| ○回答者数  | 292名 (男性 133名 女性 159名)       |
| ○回答率   | 85.9%                        |

### 【結果概要】

毎年、全国各地で甚大な豪雨災害(水害、土砂災害等)が発生しており、ハザードマップの重要性は多くの方に認識されている。

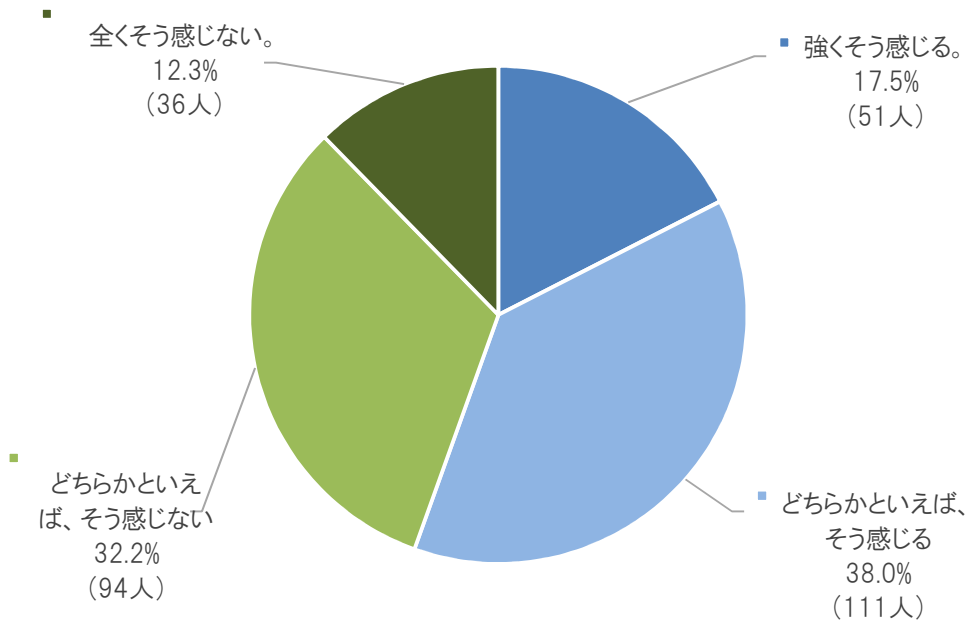
住民の方がハザードマップに求めることは、浸水の範囲や避難所の情報など地図面に関する内容が多く、それらの情報が見やすく、分かりやすく整理されていることの要望が最も多い。

また、ハザードマップの理解を深めるための手段としては、広報紙やチラシ及びウェブサイト等を活用した周知活動に対する要望が多く、それらを利用した継続的な対応が必要と考えられる。

### 【主なポイント】

- ・ハザードマップの重要性の認識は高い。(98.3%)
- ・避難時には水害ハザードマップの情報を頼りにしている。(81.5%)
- ・配布されたハザードマップを紛失した方(39.3%)
- ・水害ハザードマップには見やすさ・わかりやすさが求められている。(93.8%)
- ・ハザードマップの理解を深めるために「広報紙やチラシ等による周知活動」に対する要望が多い。(77.4%)
- ・見やすいと思うハザードマップの形式は、ポスターや冊子より「情報端末で見るもの」が若干多い。(43.5%)

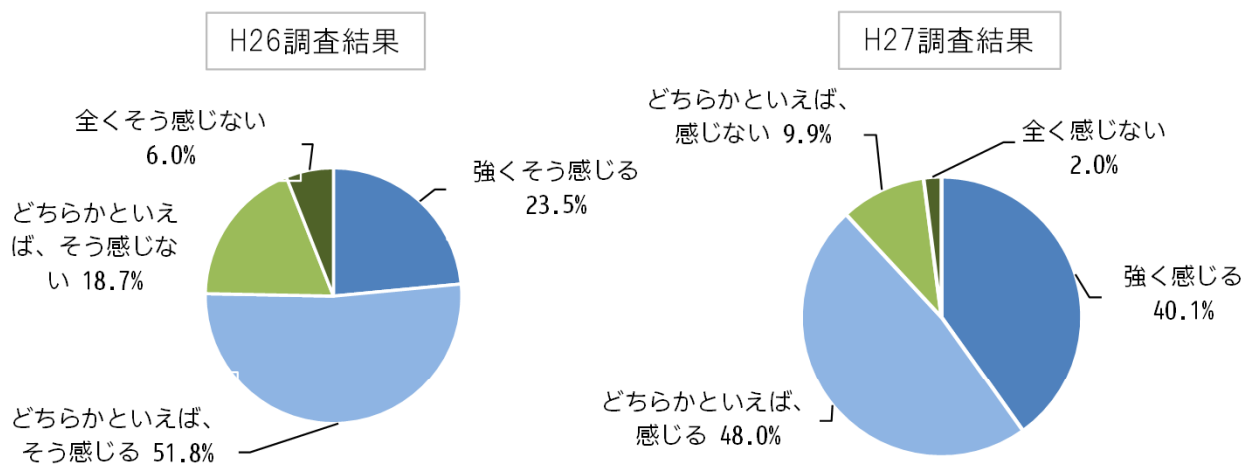
問1 以前に比べて、雨の降る量が増えたと感じますか？（1つ選択）



【ポイント】

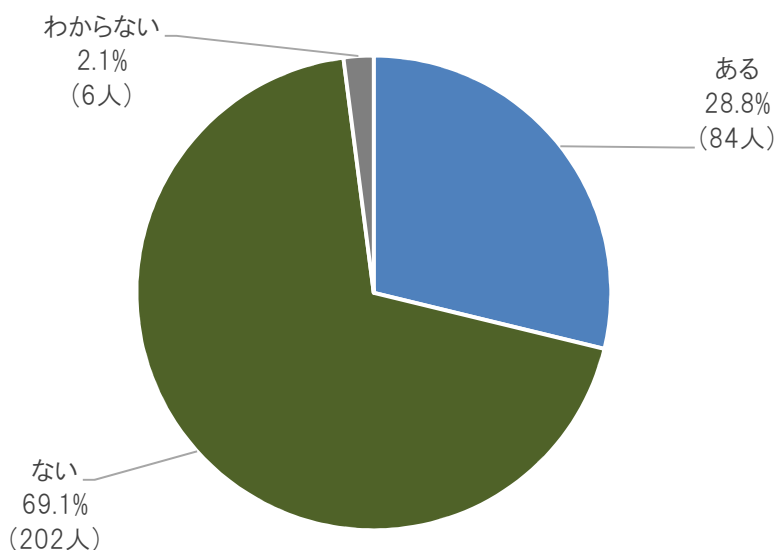
- ・過半数の方が、「以前より雨の降る量が増えた。」と感じている。気象変動が身近になっている。
- ・過去の調査結果（H26,27）と比較すると、雨の量が増えたと感じている方の割合が減少している。  
 ⇒ 近年、本市において大きな水害が発生していないため、住民の大雨に対する意識が低調な傾向  
 「強く感じる」31.8%→17.5%、「どちらかといえばそう感じる」49.9%→38.0%

過去の調査結果



| 選択肢             | 前の回答率 |       |       | 今回<br>H30 |
|-----------------|-------|-------|-------|-----------|
|                 | H26   | H27   | 平均    |           |
| 強くそう感じる         | 23.5% | 40.1% | 31.8% | 17.5%     |
| どちらかといえば、そう感じる  | 51.8% | 48.0% | 49.9% | 38.0%     |
| どちらかといえば、そう感じない | 18.7% | 9.9%  | 14.3% | 32.2%     |
| 全くそう感じない        | 6.0%  | 2.0%  | 4.0%  | 12.3%     |

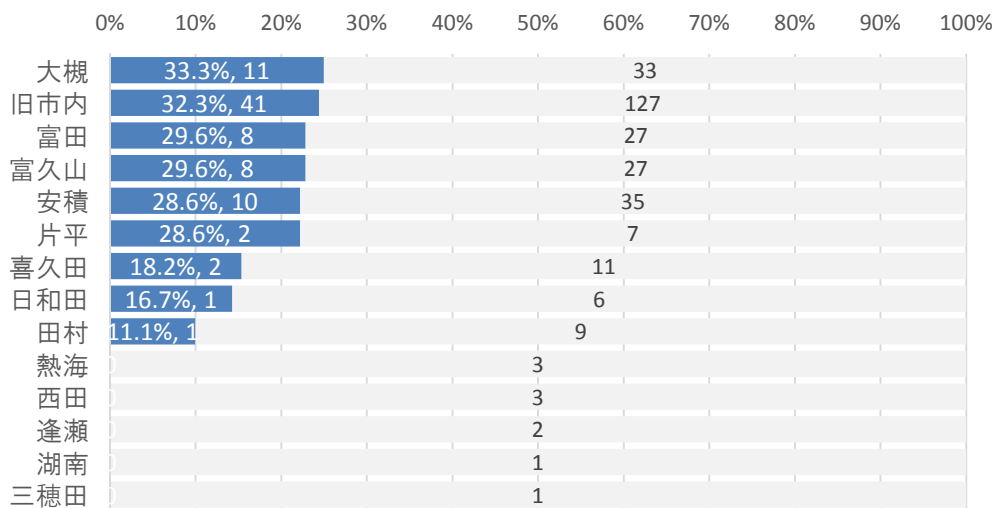
問2 あなたは浸水被害（水害）に遭ったことがありますか？（1つ選択）



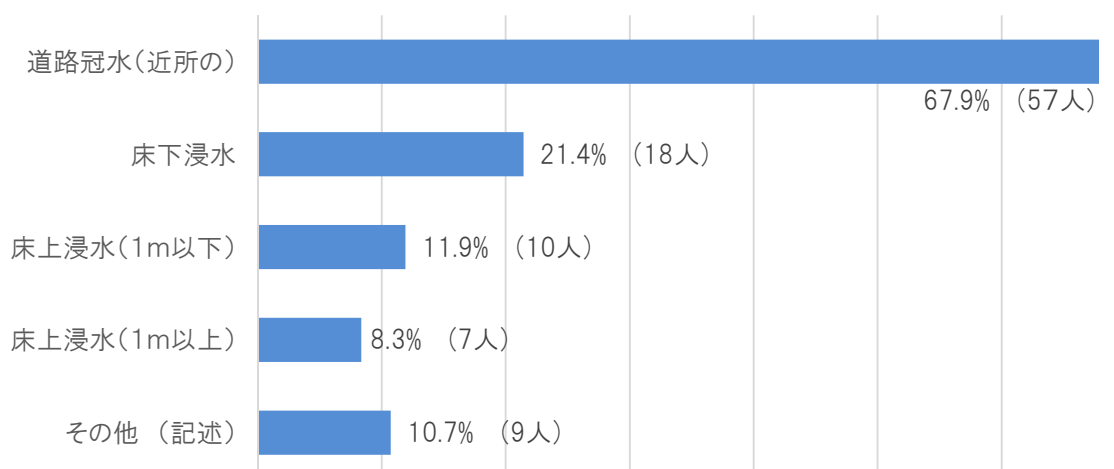
【ポイント】

- ・約3割の方が、水害にあった経験がある。
- ・地区別では、大槻、旧市内、富田、富久山、安積地区などで、水害の経験が多い傾向がある。

< 地区別の割合 >



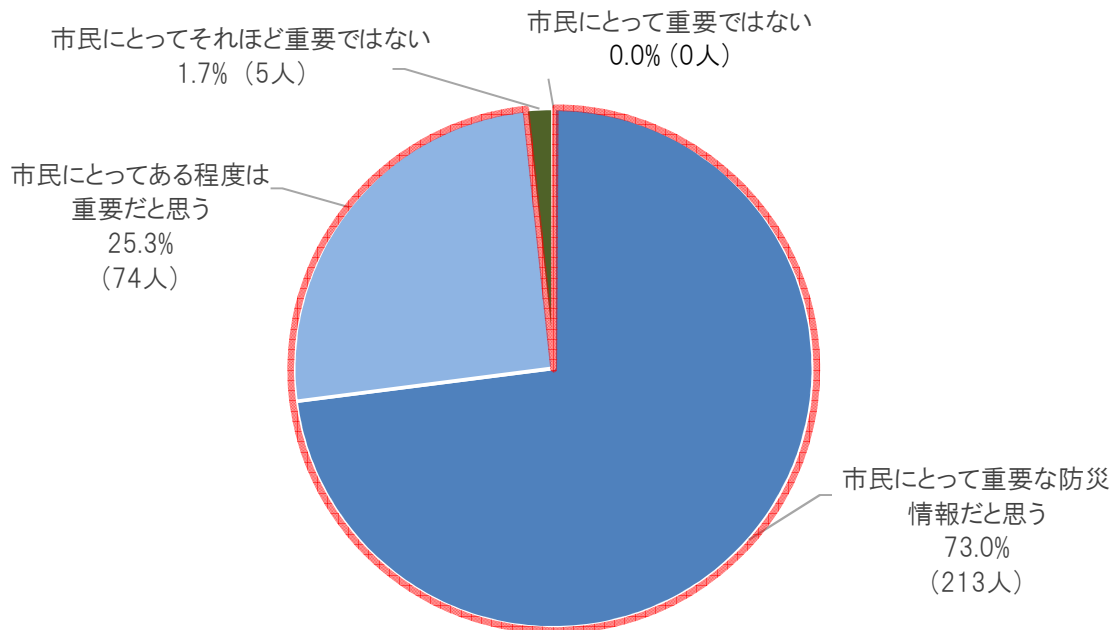
問3 問2で「ある」と答えた方にお聞きします。被害の状況はどのようなものでしたか？  
(複数選択可)



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・車を走行中、水はけの悪い交差点で浸水しながら走行した。
- ・逢瀬川決壊で富久山南田地区全没
- ・車
- ・2011年夏、下水まで排水されず店舗に浸水手前までの状況になった(旧市内 虎丸)
- ・近所の床上浸水、自己所有車浸水(旧市内 昭和1丁目)
- ・駅近くのバスターミナル横の車道で車が水没した
- ・自家駐車場(旧市内 並木)
- ・職場付近の河川冠水
- ・仕事をしていた時期の顧客の店舗に床上浸水。

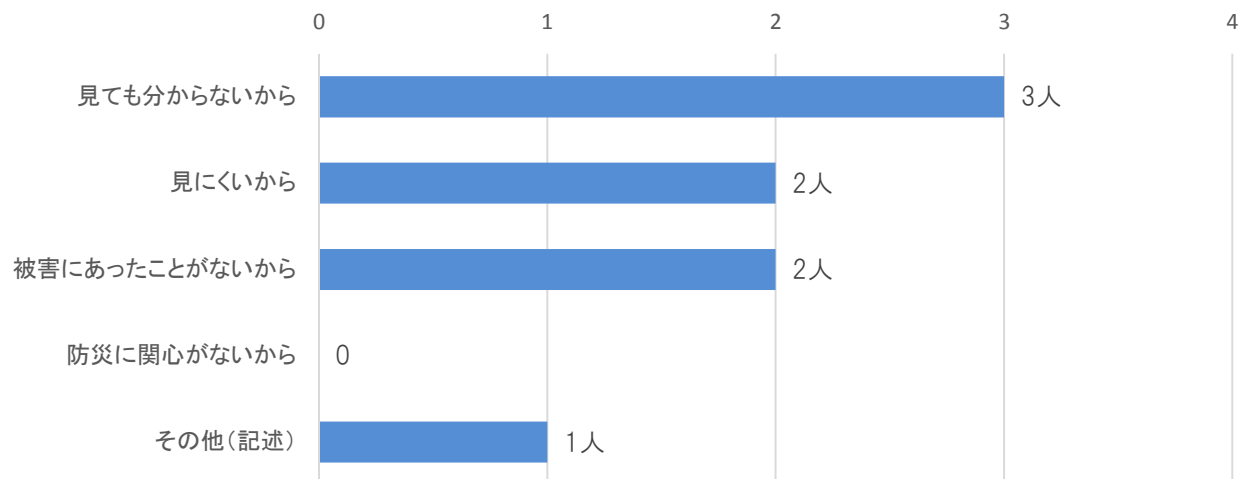
**問4 あなたはハザードマップについて、どう考えていますか（1つ選択）**



**【ポイント】**

- ・ 98%以上の方が、ハザードマップの重要性を認識している。

**問5 問4で、「市民にとってそれほど重要ではない」「市民にとって重要ではない」と答えた方に伺います。なぜ、そう思うのですか？（複数選択可）**

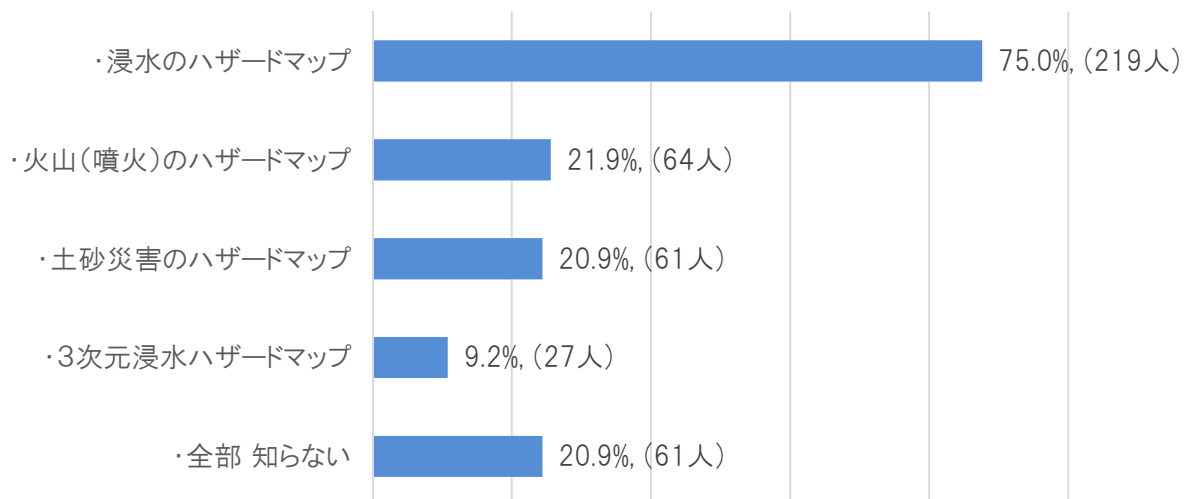


**※「その他」を選択した方の主な意見**

- ・ 実際避難勧告が出ても近所も含め避難する人が居なかった
- ・ 対象となる市民の少数派にとってはある程度重要

問6 郡山市には、いろいろな種類のハザードマップがありますが、あなたが知っているハザードマップを全て選択してください。（複数選択可）

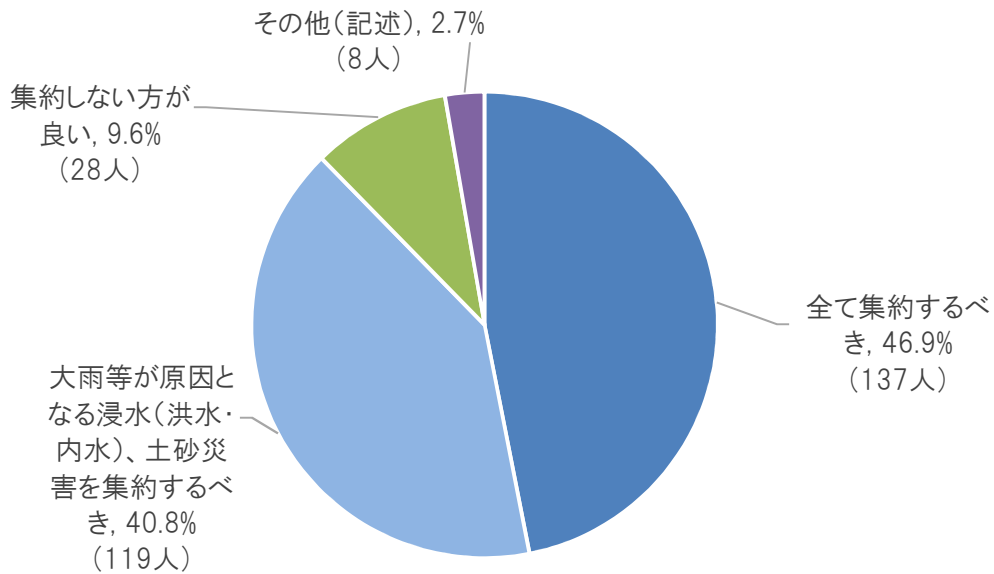
<各種ハザードマップ> 浸水（洪水、内水）、3次元浸水、土砂災害、火山



**【ポイント】**

- ・浸水ハザードマップの認知度だけが高く、他のハザードマップの認知度が低い。
- ・3次元浸水ハザードマップの認知度が低い。
- ・全てのハザードマップを知らない ⇒ 全体の約2割もいる。

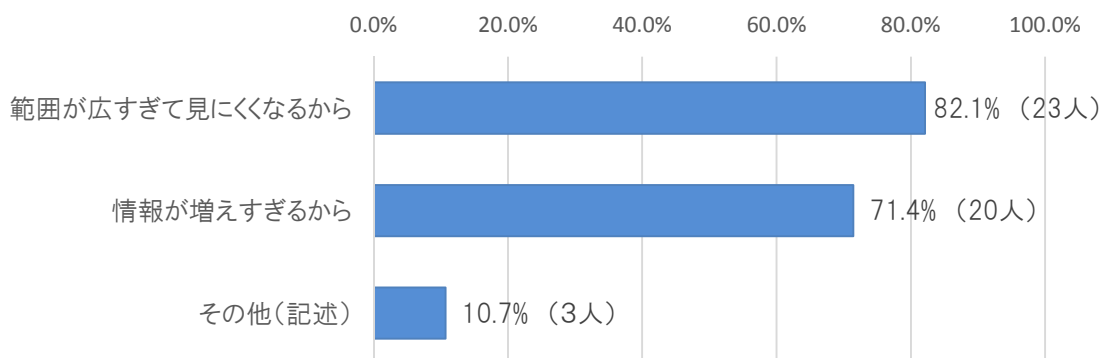
**問7 郡山市の各種ハザードマップについて、それらのハザードマップを集約するべきと思いますか？（1つ選択）**



**※「その他」を選択した方の主な意見**

- ・集約したものと、各々のものがあればよい
- ・よく分からない
- ・必要とは思いますが実際には郡山市から配布された冊子を活用することがなかった
- ・どんなものなのか不明のためわからない

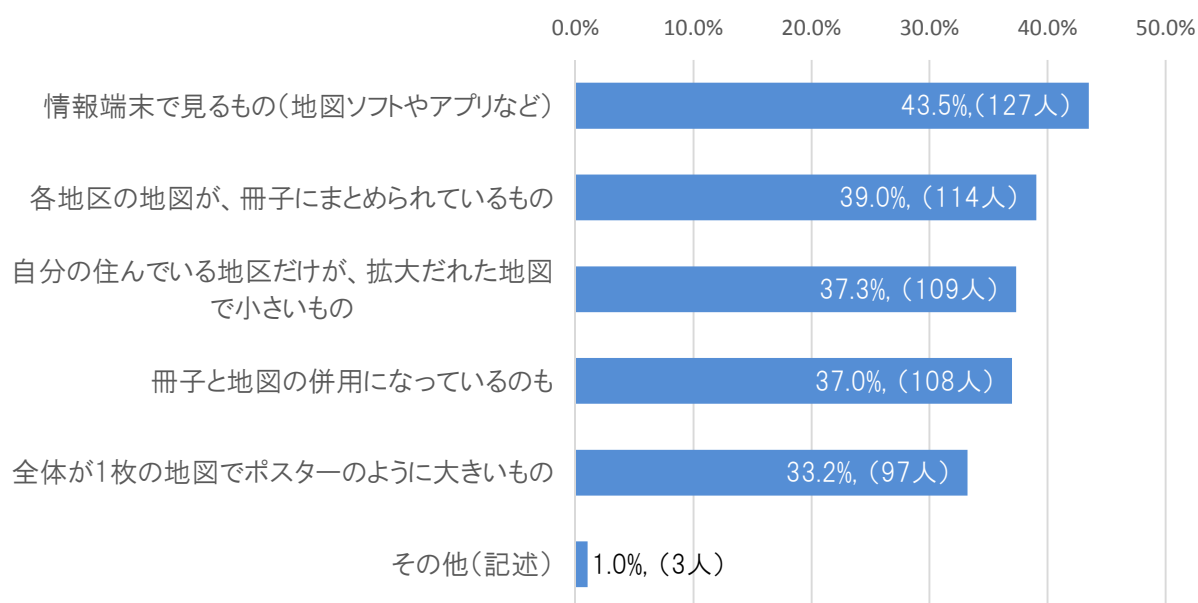
**問8 問7で「集約しない方がよい」と答えた方に伺います。なぜ、そう思うのですか。（複数選択可）**



**※「その他」を選択した方の主な意見**

- ・どうしたらいいかわからない
- ・見にくくなると配られても高齢者の方は特に見なくなる

### 問9 あなたが見やすいと思うハザードマップは、どのような形式ですか？（複数選択可）



#### ※「その他」を選択した方の主な意見

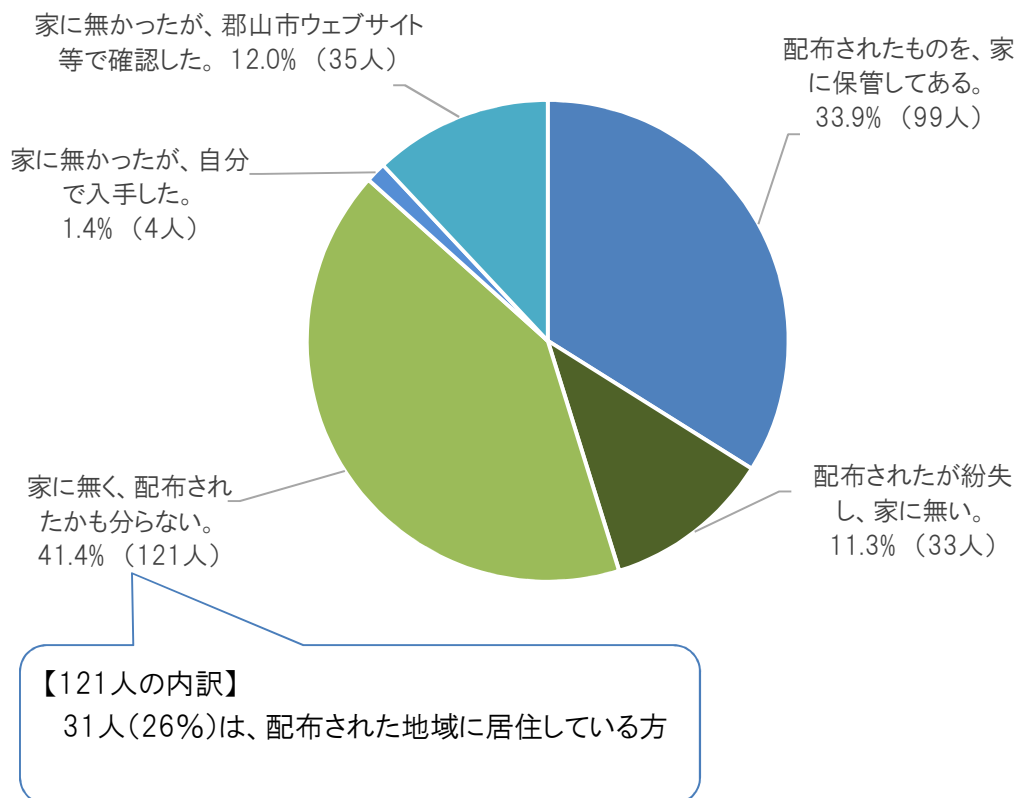
- ・ 気象庁や民間気象企業の情報
- ・ 自宅のある近所に限定されたものが見やすく、自分の避難場所も一目ですぐにわかるから
- ・ わからない
- ・ 何がベストなのかは 内容を見ないと何とも言えない

#### 【ポイント】

ハザードマップには、多種多様な形がそれぞれに求められるため、何か1つの決まった形ではなく、住民の方の要求にできるだけ対応できる形式にする必要があるか。



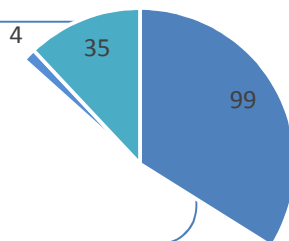
**問10 あなたの家には、水害のハザードマップ（浸水ハザードマップ H25.5）がありますか？（1つ選択）**



**【ポイント】**

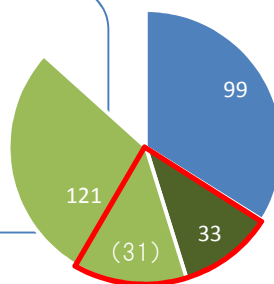
①ハザードマップの保有率  
 $(99+35+4) / 292 = 47.3\%$

ハザードマップの配布率 (H25)  
 (配布世帯数から) 36.2%



②ハザードマップの紛失率  
 $(33+31) / (99+33+31) = 39.3\%$

約4割の方がハザードマップを失くしてしまっている。



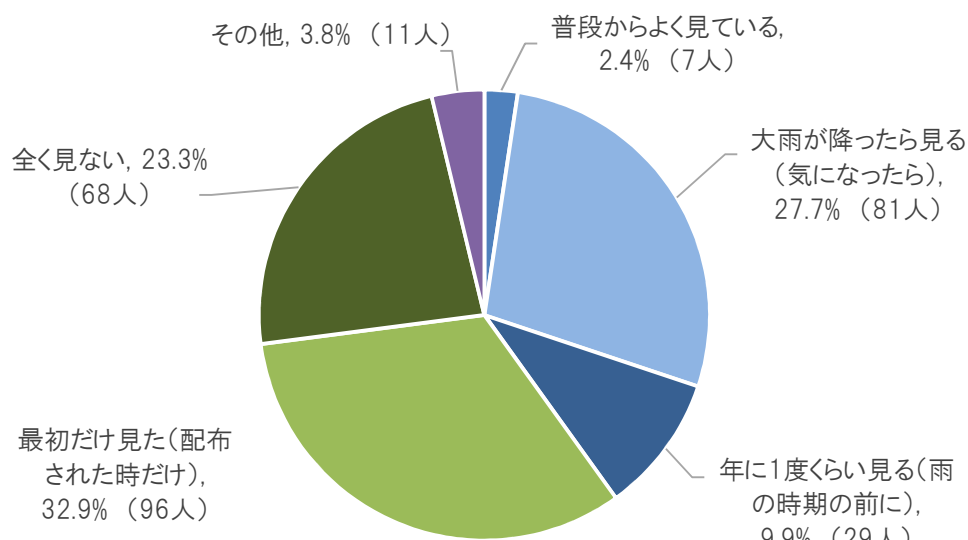
**①の結果**

ハザードマップの配布対象区域に住んでいない方も、自らハザードマップを確認している方も多くいる。

**②の結果**

ハザードマップが配布されても約4割が失くしてしまう。

問11 あなたは、どのようなときに水害のハザードマップを見ますか？（1つ選択）



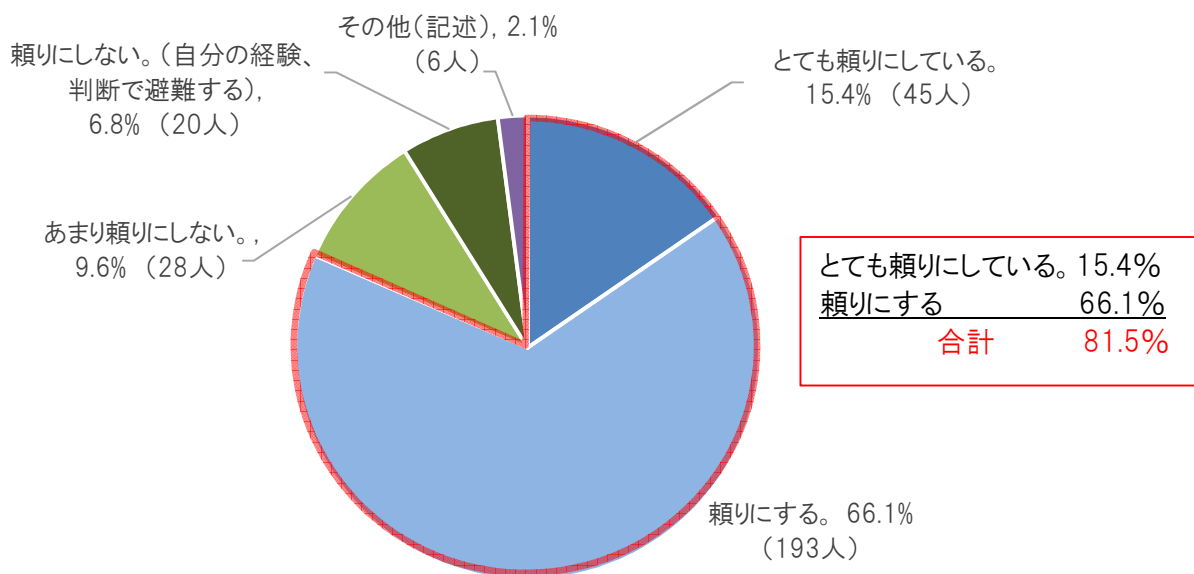
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・町内会の役員をしているので自主防災組織等の関係もあり、改めて開いて確認した。
- ・どこかで水害のニュースが出たとき
- ・子どもの小学校の社会の時間に活用。家を建てる時、建築の人に見せてもらった。
- ・災害があったのは職場なので職場でたまに見ます
- ・会社から、自分の家から会社までを確認するように言われた時に。
- ・家購入時に参考にした

【ポイント】

- ・全体の約4割の人は、年に1回以上「水害のハザードマップ」を確認している。
- ・問2で「水害に遭ったことがある」と答えた人は、8割以上の人が見ている。

問12 水害であなたが避難をする場合、ハザードマップの情報を頼りにしますか？  
(1つ選択)



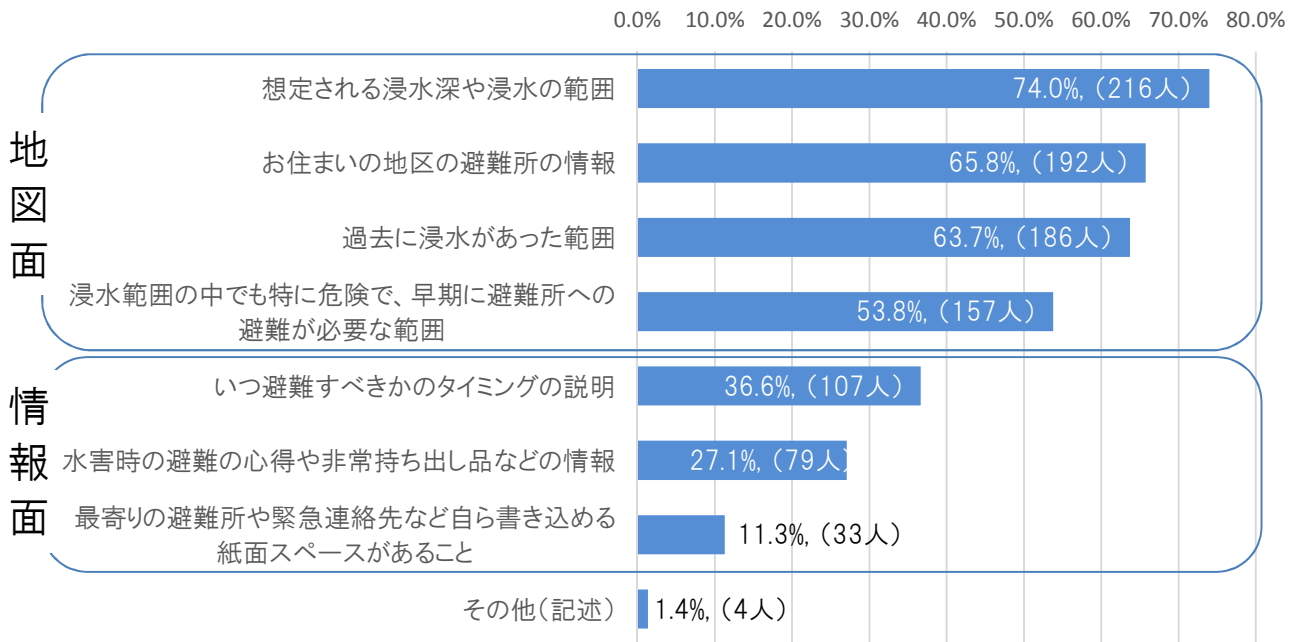
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・あまり水害を受けにくそうなので、**対岸の火事のように**感じている。
- ・マップを見ても分からないから、周りに聞く
- ・過去の経験から隣り近所と相談して決める。
- ・その時にならないと分からないから
- ・わからない
- ・家が高台にあるので、現時点では水害の心配はない

【ポイント】

- ・8割以上の方がハザードマップの情報を頼りに避難するという結果。
- ・問11で、「水害ハザードマップを全く見ない」と回答した人のうち、約65%はハザードマップの情報を頼りに避難をすると回答している。  
⇒いざという時にハザードマップを初めて見る人も多くいる。  
ハザードマップは、事前に避難場所や避難経路を確認しておく必要があることを周知徹底する。

問13 あなたが水害のハザードマップの内容で最も重要と思うものは何ですか？  
(複数選択可)



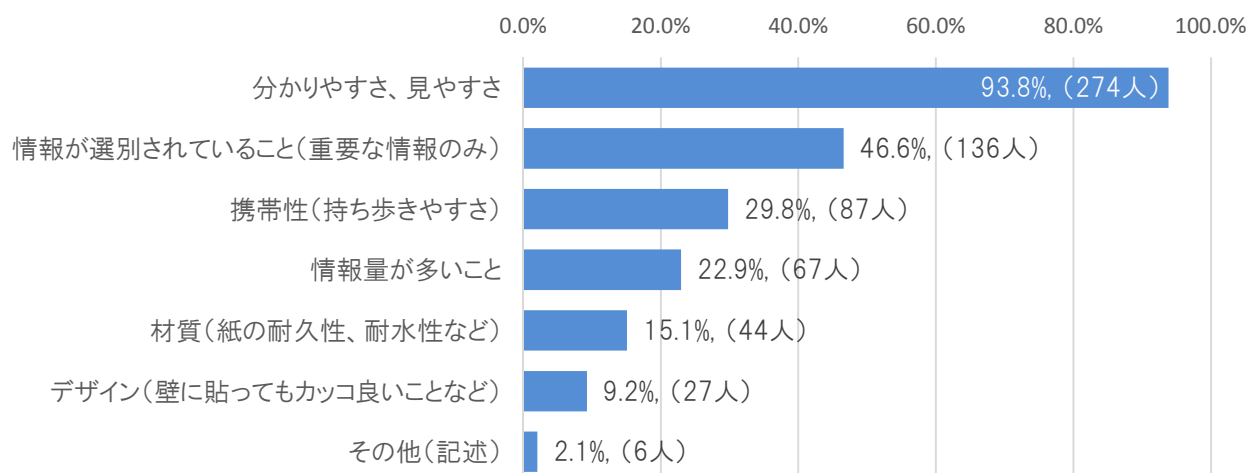
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・過去の被害状況・履歴
- ・放送で阿武隈川と一口に言わず、地域名も言うべき。
- ・水害があるところに住まない！ 水害があるところに家を建てる許可をあたえない。

【ポイント】

- ・ハザードマップは、危険なエリアを示す「地図面」とどのような行動をとるかを記す「情報面」から構成されている
- ・ハザードマップに記載する情報で重要性が高い（要望の多い）ものは、「地図面」に関する内容

#### 問14 あなたが水害のハザードマップに望むことは何ですか？（複数選択可）



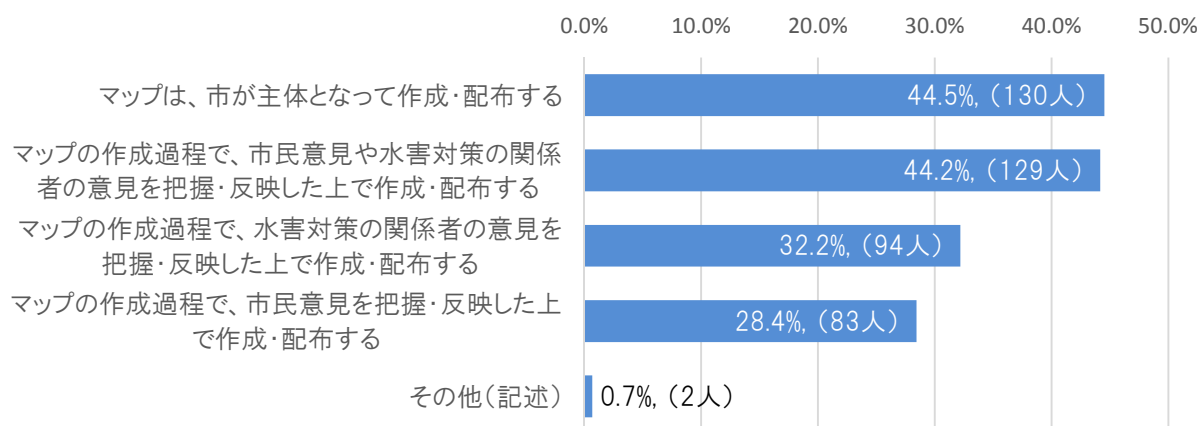
#### ※「その他」を選択した方の主な意見

わが家の防災ハンドブックはあったので、一緒になっていたら活用しやすいような気がします。パッと見でわかるところには最重要項目、タップしたり紙面の脇に詳しい内容となっているとわかりやすい見やすさが重要かと思います。番地・号までの細かい情報でなくとも「この付近は危険エリア」のよう情報の正確さ、情報の信頼性  
年に一度は回覧板で、希望者は支所や公民館へと。  
ゴミ分別表くらいのものに集約したもの

#### 【ポイント】

- ・ハザードマップに求められる内容は、「分かりやすさ、見やすさ」や「情報の選別」などが多い。

#### 問15 あなたが最も望ましいと思う水害ハザードマップの作成方法はどれですか？（複数選択可）



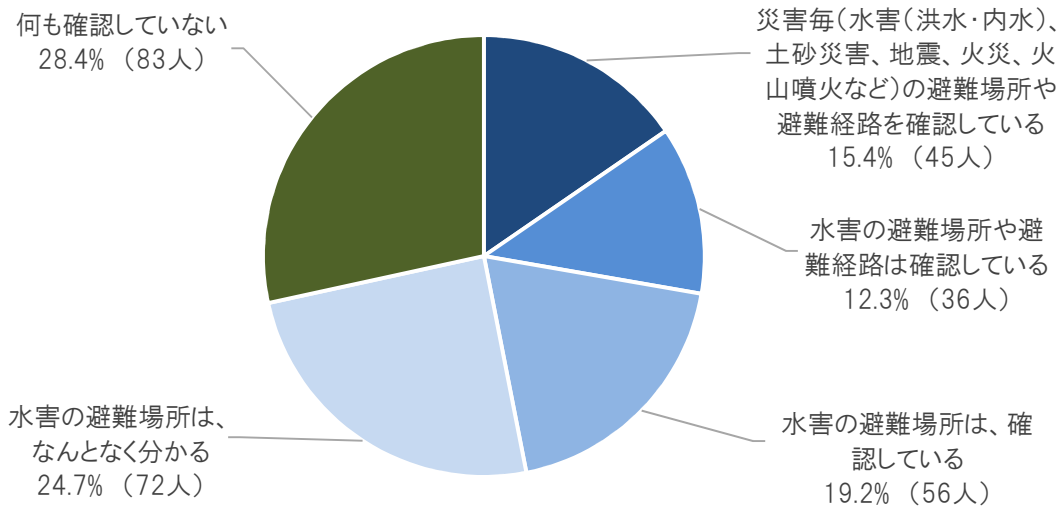
#### ※「その他」を選択した方の主な意見

過去の災害の状況も含めて作成する方法

#### 【ポイント】

- ・ハザードマップの作成には、なるべく多くの意見反映が求められている。

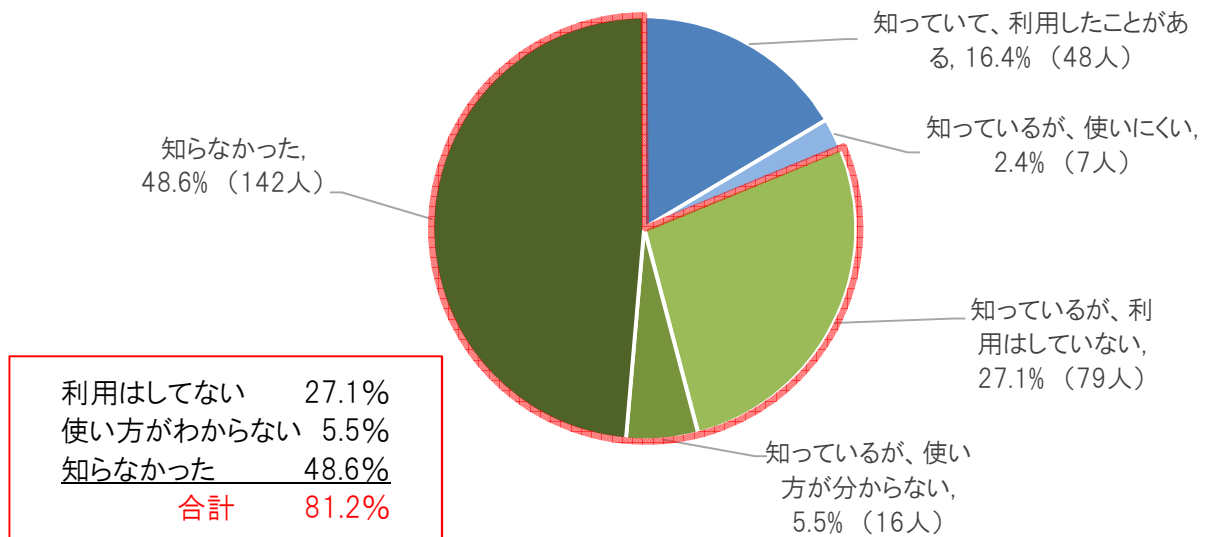
**問16 あなたは、災害が発生した場合に自分が避難する場所や安全な避難経路を事前に確認していますか？（1つ選択）**



**【ポイント】**

- 全体の7割以上の方は、水害に対応する避難場所は、確認又は把握をしている。  
⇒逆を言えば、3割の方は災害が発生した場合の避難場所すら確認していない。

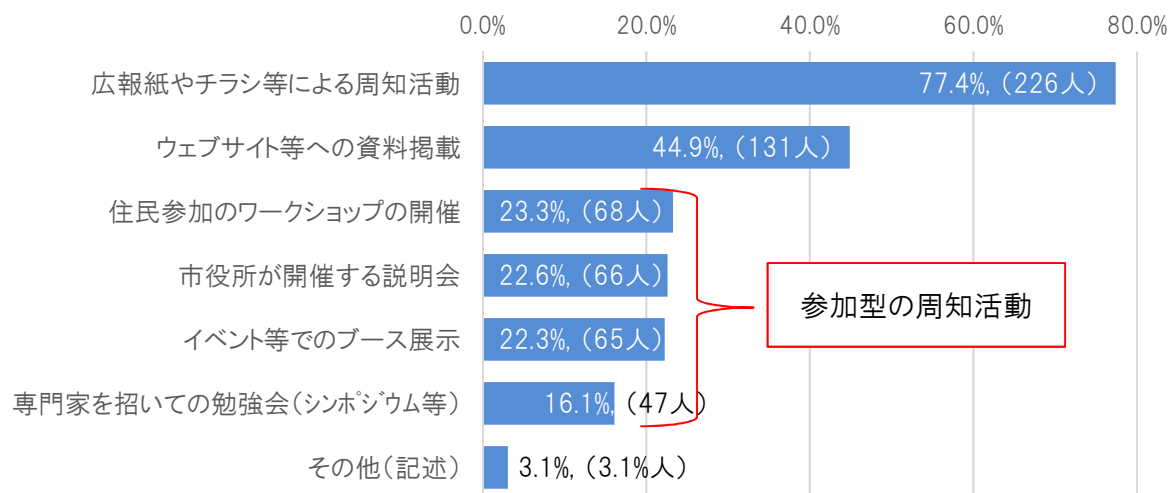
**問17 郡山市では、公式ウェブサイトや地理情報システムに浸水ハザードマップの情報を掲載し、必要な情報を入手できるようにしています。あなたは、そのことを知っていましたか？**



**【ポイント】**

- 全体の8割以上の方が、郡山市のウェブサイトや地理情報システムの水害情報を利用していない。また、約半数の方が、ウェブサイトの情報を「知らなかった」と回答している。
- IT機器（パソコン等）の操作に慣れているモニター登録者の方でも、2割程度の利用率にとどまる。

**問18 あなたは、水害のハザードマップについて、住民の皆さまの理解を深めるためには何が有効な手段とと思いますか？（複数選択可）**



**※「その他」を選択した方の主な意見**

- ・水害の恐れのある町内会単位の勉強会
- ・ショッピングセンター等に掲示する
- ・地域で勉強会を開催して下さい
- ・過去の災害状況を定期的に告知
- ・テレビで特集してもらおう
- ・実際に被害が予想される場所に立看板。詳しくはハザードマップで。のように
- ・専門家を招いた市の説明会のビデオを市役所等で常に流す。
- ・あまりよくはわかりませんが、安積疎水と一緒に学ぶことはできませんか？
- ・シンプルで解りやすい動画での配信

**【ポイント】**

- ・参加型の周知活動より、広報紙やウェブサイトへの資料掲載などの受動的な周知活動に意見が傾向

**問19 あなたは水害ハザードマップにどのような情報があると便利だと思いますか？ 改善すべき点など（自由記述）**

- 過去に、台風やゲリラ豪雨で浸水した道路を掲載して欲しいです。走行中に、車が浸水するかもしれないという心配なく、その道路を避けて帰宅などができると思うからです。
- 避難指示と避難勧告の用語の解説をもっと大きく表示する。
- 各携帯会社の災害伝言板のアクセス方法
- いつでも見れるよう、市役所、支所、他、スーパー等、人が集まりやすい所にも、掲示する。
- スマホを持っている人が多いと思うので、QRコードでの情報提供。
- 例えばA3サイズで常時掲示できるサイズとて、表に自分の地域、裏に全市など必要に応じて見やすい複合的なチラシ。緊急連絡先などの案内は、WEBサイト誘導をQRコードで表示し、アクセスを簡単にする。
- ライブカメラのリアルタイムな映像 特に早期に被害が発生する恐れのある場所の映像
- 地域の避難所に、介護の必要な高齢者、障害者の受け入れが可能かどうかの記載があると良い
- 現在の情報を確認する手段  
リアルタイム河川カメラ情報のHPアドレスなど冠水しやすい道路情報とう回路案内

**問20 水害の被害軽減には、住民の方の危機意識が重要です。地域の皆さんに水害等に関心をもってもらうには、どうすれば良いと思いますか？（自由記述）**

- 他地域に、残念ながら水害があったような時からあまり離れない時期にでも、こおりやま広報にでも、特集で水害時の注意点などを作っても良いのかな？と思います。
- 理想では、実際に水害が起こる前にハザードマップを確認して備えるのが望ましいが、難しいと思う。実際には、大雨が降っている時にリアルタイムに情報を得るための行動を起こす人が多いと思う。なので、大雨の時に、テレビで情報を流すとか、インターネットで情報を流すのが現実的だと思う。
- 郡山市のハザードマップは今まで一度も見たことも聞いたこともない。うちはアパートなので「広報こおりやま」も届かないので、郡山市に関する情報がなにもない。いのちに関わる情報ならなおさら、郡山市民全世帯に情報を知らせていただきたい。
- 被害が予想される場所には注意喚起の看板が必要。どこに避難すべきか、文書だけでなく、一目でわかるように図式する。避難所までは、何分歩くとかも明記。普段から避難所を身近に感じてもらうように避難コースを散歩コースにしてもらう。
- こおりやま広報などによる定期的な特集記事
- 水害の発生しやすい区域において、台風シーズン前に説明会やシンポジウムを開き事前に危機意識を高める。市の防災情報を広く周知し・登録させ、豪雨・水位・避難情報等を見て関心を高める。